

議 長
確認印

経済常任委員会会議録

1 日 時	開会 令和2年3月3日 13:51 閉会 令和2年3月3日 14:41※休憩 14:10~14:35
2 場 所	委員会室
3 出席委員	鈴木茂、七宮広樹、藤田一男、割貝寿一、吉田広明、下重義人、鈴木孝則
4 欠席委員	なし
5 出席要求者	紹介議員 青砥與藏
6 職務出席者	議長、議会事務局長、書記
7 説明員	なし
8 傍聴人	なし
9 付議事件	第1 請願の審査 第2 閉会中の継続審査について その他
10 議事の経過	<p>副委員長（七宮広樹）開会 委員長（鈴木 茂）あいさつ 第1 請願の審査 請願第1号 洪水回避を目的とした流量確保のための久慈川と川上川の川底掘削の予算の確保を 求める請願書 委員長：請願第1号の請願審査を行う。紹介議員の趣旨説明を求める。 （紹介議員である青砥與藏議員が趣旨説明する 説明省略） 委員長：何か質疑はあるか。 藤田委員：本請願は久慈川と川上川の合流点のみか、町全体を取り上げるものか。 青砥議員：埜三区及び四区住民からの声を吸い上げた。単年度で終わることなく継続的な要望をし た方がいいとの判断で今年1月20日以降40名の総意として提出した。よって、町全体として取 り上げるものではない。 藤田委員：今回の水害で川上川の上流でも数戸浸水したが、これも請願の範囲ではないというこ とか。 青砥議員：久慈川下流の植田区民とも話をしたが、最終的に埜四区長とも相談し埜地内のみとした。 委員長：大字埜全区長からの総意で請願が提出されるべきかと思うが、限定的な範囲なのはどのよ うな整理をしたためか。 青砥議員：目の前の課題に集中したため、考えが大字埜全体に回らなかった。 藤田委員：新年度で町内の水路調査費が予算計上されている。現状町でも動き出している点を了解 願う。 副委員長：請願を取り扱うことは大変に重い事で、請願方法は非常に慎重に取り扱わなければなら ない。継続的な要望をするためにも町全体としてこの問題を取り上げるべきと考える。</p>

吉田委員：今回提出された文章的にも請願として取り扱うにはもう少し内容的にも精査が必要と感じる。

鈴木（孝）委員：順序として、町全体の意見を取りまとめ、県や国へ要望すべき。以前地元の国道改良の要望を県に毎年行っていたが、国へ内容が伝わっていない事があったため、同じようにならないよう慎重に陳情や請願を行うべき。

青砥議員：確かに単年度で終わる事業ではない事は認識している。時間をかけて継続して行ってもらいたい要望したいが、まずは合流地点を早急的に考えた。

委員長：その他なければここで質疑は終了し、紹介議員は退室願う。

（紹介議員が退室し、委員会が一時休憩される。）

委員長：討論に入る。

（討論なしの声あり）

委員長：これで討論を終わり採決を行う。まず採択に賛成者の挙手を求める。

（挙手なし）

委員長：次に不採択に賛成の挙手を求める。

（全委員挙手）

委員長：この請願は不採択と決定した。以上で請願第1号の審査を終了する。

第2 閉会中の継続審査について

委員長：所管の事務について継続審査としてよいか。

（異議なしの声あり）

委員長：ではそのようにする。これで会議を終わる。

副委員長：閉会

埴町議会委員会条例第27条の規定により署名する。

令和 年 月 日

経済常任委員長